

2006年度卒業論文提出者題目一覧表（ゼミナール別）

●真鍋 一史 教授

- 柏木 貴志 語られた言葉を前にして
—広島・重慶・神戸—
- 新田 理恵 人目が気になる距離
- 増田 紗苗 現代人は、こんなことが恥ずかしい
- 今井日奈子 二項対立に見る価値付与とその表現
様式
- 村上 政彦 「ついていきたい」魅力的イメージ
は変容しているか？
—劉備玄德型から曹操孟徳型へ—

●山路 勝彦 教授

- 楠 幸司 記憶の保存と再生
—鳴門市ドイツ館から読み取る—
- 小坂 歩 沖縄差別を考える
- 綾部 有 伝統は創られている
- 幸長 寿子 アジアンビューティーとオリエンタ
リズム
- 小野 優 富士山表象と世界遺産
- 大橋 祐子 熊野古道表象とその変容
- 高尾 明弘 日本における棚田の必要性について
の考察
- 高橋 正嗣 テーマパークに繰り返し訪れる魅力
—ユニバーサルスタジオジャパンを
通して—
- 波多野敬之 世界遺産をめぐる観光
—屋久島におけるエコツーリズムの
現状と課題—
- 井谷 友恵 歴史的町並みの価値と町並み保存の
あり方
- 久保 千裕 大阪万博について—建設物を中心に—
- 高崎久美子 神戸へのまなざし
- 山下 建 日本美術とオリエンタリズム
—岡倉天心と村上隆を通して—
- 遠藤 弘太 アイヌ民族へのまなざし
—博覧会に登場するアイヌ民族—
- 朝田 拓郎 観光のまなざしと創られた観光地
—白川郷・五箇山合掌造り集落に見

る事例—

- 成本 佳代 インディアン映画にみる民族表象
- 稲野あかね 神戸南京町・春節の芽吹き
- 酒井 昭平 日本人の黒人観の形成
- 山口 浩之 セクソロジーの開化と、〔性〕なるもの
の発見

●山本 剛郎 教授

- 杉山 雅弘 労働市場主義がもたらす格差の進行
とは
- 永井 景三 在日コリアンの不可視性
- 秦 賢太郎 祭りの機能と今後の在り方
- 羽柴 将貴 ブラックバスとの付き合い方
- 木村 賢司 国際紛争が起こる要因とその解決策
- 河本 哲也 安全なインターネットを目指すには
- 澤野 仁美 資生堂 TSUBAKI はなぜ売れたのか
- 森 秀樹 アントニオ猪木について
- 清水 洗一 現代日本はこれからどのような教育
が必要か
- 西川 哲人 多民族・多言語国家シンガポールに
ついて
- 堀川 京三 メディア上の身体
- 町田 啓 人口減少による変化
- 植田 早紀 昔ながらの子どもの遊びの意義
—現代の遊びと比較して—

●安藤 文四郎 教授

- 田尻 瑠衣 少年または男性同性愛ファンタジー
作品を消費する女性たちに関する研究
- 上野 覚 ミクシィについての考察
- 時岡 良伍 日本ヒップホップ文化の広がりにつ
いて
- 吉村 昭弘 奈良県室生村の過疎問題
—アート（芸術）で過疎問題は解決
するの—

●浅野 仁 教授

- 東 珠実 } 在日コリアンの生活問題と対策
- 藤村 真樹 }

- 古谷 明仁 福祉ニーズの変化と福祉従事者
 石井 奈緒 介助犬の存在意義
 竹永 藍 少子化問題から見える日本社会
 中西 亮介 NPO をとりまく環境
 —その現状と課題—
 上田 俊道 社会福祉における宗教の役割
 —仏教とキリスト教による慈善事業
 から—
 山中 千紘 老人クラブを通して獲得する高齢者
 の生きがいの可能性について
 小林 由佳 “団塊の世代”のセカンドライフに
 関する研究
 岡島 一平 余暇生活における生涯スポーツ
 八島千香子 西欧近代精神医学の歴史から見る現
 代の精神科医療と精神保健福祉
 吉田 博紀 バリアフリーの現状と課題
 池尻菜央美 地域福祉—日本とイギリスの比較—
 木下 晴香 日本の障害者スポーツ
 立花 正晃 } 日本の若年労働問題とニート
 山内 佳祐 }

●高 坂 健 次 教授

- 中尾 理沙 枯葉作戦の後遺症と水俣病の視点か
 ら正当化の社会学を考える
 大丸 大樹 ベトナム戦争の魅力
 —戦場カメラマン達のベトナム戦争—
 山本 悠 社会統合システムとしての戦争
 —ナショナリズムは戦争を起こすか—
 荒木 翼 日本にとって、世界にとっての東京
 裁判
 見上有紀子 トウキディデスの三要素から見た
 戦争起源の本質の追求
 大石 美織 紛争下の子ども達の声
 佐藤 未菜 ベトナム戦争の分析
 —G・ジンメル形式社会学を用いて—
 米田 星森 韓国の現状と戦争映画の認知について
 岩井 健太 ゆとり教育はなぜ失敗だったか
 齊藤 綾乃 「人間と戦争の関係」についての研
 究論文
 森本なつみ 戦争と日常の距離
 広瀬 純一 宗教と暴力
 —オウム真理教に見る特異性—
 大野 邦雄 自殺と失業

- 東 涼子 Missed Opportunity の教訓をいかす
 ために
 —沖縄戦の背景と民衆思考に学ぶ—
 岩佐 嘉大 メディアは戦争とどう向き合うべきか
 —「戦争ゼロ」に向けて—

●對 馬 路 人 教授

- 飯島 一敏 漫画「風の谷のナウシカ」の主張
 澤野 良太 臓器移植問題からみる日本人の死生
 観・生命観
 岡島 圭甫 最高のコーチングとは？—平尾誠二
 の指導法と比較して考える—
 細見 圭子 弁護士という職業
 下本 竜也 カリスマ
 —オウム真理教のカリスマ現象—
 山下 勇士 日常社会における心理学
 天岸 幸代 天理教に生きる人々
 —中山みきの生涯と部落差別—
 片山万理子 人々はなぜ歩くのか
 —最近の四国遍路事情—
 瀧川 茜 西国と新西国霊場における巡礼
 西垣 潤 消えた宗教・マニ教と生き残った宗教
 宇野 千晶 京都ブームと見直される仏教
 宮崎 亮輔 ラスタファリズム
 —ジャマイカのラスタと日本のラスター—
 大野 和輝 食品スーパーマーケットの歩みと今
 後の将来
 吉村 享子 会社と「家」の対比から見た会社宗教
 刃物美喜子 音楽と癒し
 堀江 玄 ヨーガの広がり精神世界
 田中 陽介 日本人の宗教観—日本人の信仰心
 について考える—
 三橋菜来子 観光地・熊野の歴史と展望
 柏木 佑介 日本のホラーがなぜアメリカで受け
 入れられたのか
 岩井 葉子 現代社会適応術
 曹 雪 梅 中国の朝鮮族と在日コリアンについて
 阪 亮祐 現代の占い
 —インターネットによる占いと占い
 師—
 山口 伸久 ヒトラーに見るカリスマ性とマイン
 ド・コントロール

藤井 基博 立花隆氏の「脳死論」に見る科学至上主義とその限界
—自我と身体の社会性からの考察—

◎芝田正夫 教授

岡本 陽平 日本における少年事件報道
木村 泰子 デジタル放送の課題
寿賀 匡子 日韓の相互理解とメディア
向井 由季 放送と通信の融合
岡 亮佑 青少年保護とメディアの関係
—表現規制とメディア・リテラシーから—
藤田 実沙 メディアと外国イメージ
竹林 雄介 少年犯罪から見るメディア
松岡 美沙 メディアスポーツ
—スポーツとメディアの関わり方—
岸田 彩 差別的表現と出版の自由
—『ちびくろサンボ』の絶版と再版について—
秋山 弘子 観光とメディア
丸山 明加 広告業界の新展開
—インターネット広告とテレビ広告—
福本 圭祐 ラジオの現状と今後の発展性
財前 美穂 犯罪報道における報道被害について
平田 侑子 実名報道と匿名報道
辻崎 仁 映画表現における規制
高木 俊秀 うわさの力
河本 陽介 メディアがポピュラー音楽文化に与える影響
大澤 博史 スポーツビジネスにおけるメディア展開—NFL リーグの成功—
岸本 雄一 メディアとスポーツ
中岡 俊晃 政治報道について
—メディア政治がもたらすもの—
寺井 勇気 日本における煙草広告の影響と課題
藤ノ原侑里 報道被害とそのあるべき姿
佐賀野貴志 ワールドカップとメディア
—相互依存関係に向けての課題—
美田 良輔 スポーツとメディアの関わり
—アメリカンフットボールを中心に—
小城 友紀 言論の自由とメディア規制
—規制とメディア・リテラシーによる言論の自由の確保—

馬場友佳里 テレビメディアの現状と今後の課題
奥野 暢子 フリーバーパーの提案

◎芝野松次郎 教授

富上 聡子 子ども虐待と「絵本の読み聞かせ」の関連性—「絵本の読み聞かせ」の力によって虐待発生につながる育児不安を取り除く—
岡本 悟 幼保一元化と今後の保育の動向
途田 光 障害者自立支援法成立における知的障害児支援の現状と課題
中本 千春 子ども虐待—児童養護施設における家族再統合について—
橋本紗代子 少子化における企業の次世代育成支援の現状と課題
山本 佳祐 児童虐待の早期発見のために期待されている児童委員の役割の現状と課題
寺川 絵理 児童福祉法における保育所・園の利用者の定義について—保育所・園は親のためか、子どものためか—
本原 貴子 統合保育によって相互理解を果たすことはできるのか
—ノーマライゼーションの観点から—
坪内紗世子 「遊び」と「おもちゃ」が子ども—成長に与える影響とそのあり方—
林 明日香 子育て不安
田中 敏也 環境がもたらす健康問題について
—子どもと環境の関わりから、健康を考える—

◎藤原武弘 教授

森 香織 メディアが摂食障害に及ぼす影響について
守屋 成展 アジアにおける日本人の上位内集団とそこに生じるバイアスの検証
—IAT (Implicit Association Test) による潜在的態度指標によって—
入田 佳子 映画における認知プロセスの文化差
—「Shall we ダンス？」日本版・アメリカ版「イル・マーレ」韓国版・アメリカ版の比較から—
児玉 純 相貌特徴と性格特性の関連性

- 大富 陽子 他者から怒りを受けたときの怒り対象者の反応
- 藤本 洋輝 被服行動の類似性検討とファッション雑誌に基づく服装別印象測定
- 辻本 亜希 ソーシャル・キャピタルが犯罪率や合計特殊出生率に与える効果について
- 河野 英子 テンポと音色による音楽印象への効果とその認知のされ方について
- 平良 恵美 視線がもたらす学習の効果
—視線は理解度・記憶に影響するのか—
- 富田 真世 CM イメージが購買意欲に及ぼす効果
—回答形式と自由回答形式による分析—
- 阿部 卓朗 吃音に対する自己受容タイプについての調査的研究
- 岩田 智哉 喫煙と社会的変数の関連
- 中西 幸一 文字サイズが文字フォントのイメージに及ぼす影響
- 兪 香仙 大学生の自尊心と身体満足度が被服行動に及ぼす影響
- 古谷 浩士 Emotional Intelligence (EI) 特性尺度の作成とレジャー志向性、主観的幸福感との関連性

●宮原 浩二郎 教授

- 藤田 侑子 モテる女
- 村田 聡子 現代ハウジング考
—共有空間のある暮らし—
- 橋本佳世子 体験型教育の実践を！
—ゆとり教育は成熟社会にふさわしい教育か？—
- 井上 正行 学校教育とうつ病
—正解主義が招くうつ—
- 林 浩一 神戸は補完空港ではない。
—復興、“空のミナト”の可能性—
- 杉浦 千絵 SNS 日記論
—“mixi 日記”で社交する人々—
- 益山 温子 ビジネスマナーにみる人間関係の変容
—マナーは変わったのか—
- 青野 遥 都市を祝祭空間へ
—不思議世界とミクシィ的空間—
- 金城 慎 子どもにしてやれること
—早期教育から見る親子像—
- 長谷川浩子 私 (Me) と私たち (We) —多重人

- 格の世界—
- 岸 倫子 レゲエに見る、現代日本
—なぜ今、レゲエブームなのか—
- 川野 修平 世界遺産の濫用
—観光化する遺産—
- 吹上 裕樹 オタク化するクラシック
- 谷 絵里香 美人論—美人像変遷にみるアジア
ン・ビューティーブーム—
- 新野 奈央 消費社会と子どものモノ化
- 藤田 翔 スポーツのあり方を考える
—フェアな敗北かアンフェアな勝利か—
- 南口 麻美 見た目至上主義社会
—楽しくてキツイキレイ願望—
- 赤対美希子 新・核家族論
—ペットは家庭のあらゆる空席を埋める—
- 辻本 智 バラエティ番組と笑い
—「内輪ウケ」のテレビ—
- 佐野 直也 恋愛強迫を考える
—とある1つの冴えたやり方—
- 西郷 正輝 わかちあいとグリーンワーク
- 篁 玄太 カッコよさの香り—クールジャパン
から見る大衆のオタク化—

●田中 耕一 教授

- 赤澤沙季子 ホワイトデー研究—なぜ日本でホワイトデーは生まれたか—
- 中村 祥子 日本の少子化について
- 竹中さやか 日本アニメとアメリカのオタク
- 赤名 雄慈 萌えと癒し
- 建部 周壮 甲子園浜の環境保全に向けて
—行政と NPO の関係の—考察—
- 大道 清花 国際結婚と日本のあゆみ
—国際化社会への懸け橋—
- 川口 徳隆 「遊び」がもたらす子供の社会性
- 古賀 正史 死の受容
—死の受容からみる人間関係—
- 松浦 紗希 「モテ」を追求する女性
- 有本 志帆 アニマルセラピーについての考察
- 山本 真規 能動的メディアとしてのフリーパー
パー
- 石村 佳子 私たちが今、方言に求めるもの
- 岡田 悟 現代観光と旅の比較

- 石黒絵里香 ソーシャル・ネットワーキング・サービスの流行を解く
- 増原 喜子 現代の「占い」
—自分の生きる「物語」を求めて—
- 鈴木 絢子 携帯メールにみる若者のコミュニケーション
- 神邊 香里 日本の「かわいい」文化
—少女の誕生と70年代—
- 井坂 真子 商店街からはじめるコミュニティづくり
- 山本 暢也 タバコの立ち位置
- 大石 雅子 大阪の笑いの実態
—東京—極化社会とイメージの関係—
- 高田 純 ウォークマンの登場による私的空間の確立
- 福井 貴之 街に公共空間は存在するのか？
- 人瀬 真希 現代女性のダイエット
- 常深 裕貴 マンガ喫茶—公共でもプライベートでもない空間—

●居 樹 伸 雄 教授

- 上津 里紗 過労死問題
—世界に広がる働きすぎの社会—
- 越後美妃子 メンタルヘルス問題
—人間らしく健康で働き続けるために—
- 前田 幸作 音楽で働く人々
- 中道 博子 変わる企業社会
- 松岡 佑弥 終身雇用の確立と危機
- 谷井紗代子 日本における外国人労働者に関する研究
- 柳田 薫 女性が労働市場へ参加するために必要とされる育児休業制度と保育制度
- 富永 萌子 広がるフリーター社会
—フリーター人生は本当に幸せなのか—
- 矢野 友紀 パートタイム労働の拡大で進む非正規労働化
- 吉岡 亜紀 女性とワークライフバランス
- 山内ちひろ 女性の仕事環境の形成と育児との両立・実現に向けて
—現代の少子化問題と今後の対策—
- 松浦のりこ 長時間保育への質的アプローチ
—認可外保育所経営者のインタビュー調査から考える今後の保育—

- 福武 英明 ニートの現状と対策—企業に期待される役割と欧米から学ぶ対策—
- 安福由季子 職場における進化し続けるメンタルヘルス対策
- 米澤 緑 ワークシェアリング導入の必要性
—日本の現状と今後の課題—
- 森島 宏樹 日本の労働とワークライフバランス
—心の豊かさを求めて—
- 日野 雄太 若年無業労働者ニートとその対策
—欧米主要諸国の若年者雇用対策を参考に—
- 安井 太一 2007年問題—労働力確保と対策—
- 柴田 匡宣 労働時間の弾力化と労働者の働きやすさ
- 脇谷麻友子 ニート騒ぎから見える若者の雇用機会問題
- 田中 陽子 年次有給休暇取得推進のために

●八 木 克 正 教授

- 藤林 由実 日本的アイデンティティとは何か

●奥 野 卓 司 教授

- 加里 宏美 携帯電話端末の高性能化、多機能化のニーズ—ドコモショップサテライト夙川店における調査—
- 西山 敦子 マーケティング・ツールとしてのF1活動—F1活動がトヨタにもたらしたもの—
- 小林 恭子 女性ファッション誌における選択要因—ファッションモデルの選択—
- 大崎 美幸 ラジオ広告の減少傾向とラジオ聴取層の関係について
- 井上美由紀 音楽配信の行方
- 小倉 一矩 商品パッケージと商品選択の関係
- 西村 直子 携帯メール広告の現状
- 内藤あづみ 女性誌を読む理由—読者が女性誌に求めるもの
- 木元 匠 映画の興行収入における広告の効果
- 蔵田 祐貴 これからのスポーツ紙
- 水谷可那子 日本の大学スポーツのあり方—関西学院大学体育会アスリート達の声—
- 武田 裕伸 リアルな二次元
—「萌え」新産業の拡大と多角化—

- 小林 悠基 コンテンツ産業の発達に伴うメディアの多様化とレンタルCDショップの業態転換
- 土居 美穂 ショーウインドーディスプレイの役割
- 松尾 岳紘 神戸の観光とまちづくり
一元町・乙仲通を事例として—
- 浅井 康宏 酒類販売における一般小売店の現状と将来
- 平井 沙季 「岩盤浴ブーム」の行き先
- 信田 慎介 現在のテーマパークに求められているもの
- 廣原 暢哉 リメイク映画がオリジナルの評価を超える方法
- 宮瀬香菜子 プロ野球ビジネスの行方—東京ヤクルトスワローズを事例として—
- 柴田倫太郎 ブログブームによる個人間のコミュニティ変化

●大谷 信介 教授

- 南 優香 }
福丸 智哉 }
鍵谷 正幸 }
藤多 宏紀 }
岩尾 優衣 }
駒田 彬 } ニュータウンにおける自治会形成
大倉 佳子 } —町内会は日本の文化なのか—
山田 奈苗 }
所司原良太 }
乾 淳 }
高本甘慈以 }
佐々木 啓 } 駅のコード化
—関西ニュータウン比較調査研究—

●川久保 美智子 教授

- 小北 一彦 働くことへのモチベーション
- 柴田 友紀 日本人女性の恋愛観と結婚観の変化
- 和田かおる アルバイトから見える中国人留学生受け入れ制度の問題点
- 磯山 実花 職場の人間関係の問題と、大学生のマナー意識との関係
- 濱田宗太郎 }
沖野 翔平 } インターネットショッピングについて

- 安本由佳里 女性の社会進出について
—女子学生の職業意識—
- 山口 紗加 女性の社会進出
—女子大学生の就業意識から—
- 松下 千秋 趣味と社会的地位の関係性
- 山本 佳菜 大学生の結婚観から見る未婚化の現状
- 梶原 将義 企業の努力と自動車の購買意欲
- 水谷 拓哉 若者とニート問題
- 戸嶋 祐二 日本とブラジルのサッカーの比較
- 白谷早希子 現代人の価値観と田舎への意識
- 上田 明延 少年サッカー選手の日常生活比較
- 井宮 由佳 女子学生の就業意識における母親の職歴の影響
- 立石 泰啓 健康意識と日常生活
- 請田 嘉明 }
小松 弘之 } 国鉄改革の過程と鉄道の高速度化もたらしたもの

●Ruth M. Grubel 教授

- 半田 智洋 The impact of comics on telop

●室田 保夫 教授

- 杉江裕美子 マザー・テレサの活動とその思想
- 山口 千里 モラル・ハラスメント
—その現状と課題—
- 三箇山絵美 浅賀ふさと医療ソーシャルワーク
- 良原 由夏 福祉教育の現状と課題
—教育現場における福祉教育—
- 高山絵莉香 アニマル・セラピー
—人と動物のかかわり—
- 下地由希子 イスラーム世界に生きる女性たち
—その権利と実態とは—
- 小川 裕加 人間の死と終末期ケア
- 斎藤 裕太 スウェーデン型福祉国家の現実
- 米本 好江 少年非行
—メディアと暴力・家族の視点から—
- 高畑 広志 死刑廃止と死刑在置における福祉的考察
- 土居 恒介 国民年金の課題と今後の改革

●荻野 昌弘 教授

- 森田 晶子 母性社会とひきこもり
- 田中美紀子 現代の仲良し母娘の関係
- 朴 智恵 世界に氾濫するハローキティ

- 佐野 可苗 キリスト教結婚式（チャペルウエディング）の台頭
- 櫻井 結香 美容院におけるコミュニケーション—もうひとつの美容師の役目—
- 山田 芳恵 中東世界と「平和」の祭典
- 山根 達朗 若者の仕事に対する不安
- 上津 大介 ハゲ現象を読み解く—置き場のない存在—
- 山下 温子 不倫の社会学—フィクションでみる不倫における秘密、そして争い—
- 勢藤源太郎 「日本」という「隠れ家」
- 中島 茉莉 「かまやつファッション」に見られる和感覚の広がり
- 鎌倉友里恵 メディアの少年犯罪報道を通してみる現代社会
- 元長 麻紀 育児雑誌に見られる父親の育児参加について
- 松本 潤也 「暴力」の研究—なぜ暴力は減少したのか—
- 岡崎 匠真 資本主義プロレスとしての総合格闘技
- 小野 智彩 若い女性にとっての鈴虫寺
- 新谷 裕 お笑い養成所に見る芸の伝承
- 今田梨恵子 教養主義の衰退から考える学生と教養のあり方
- 橋川 健祐 地域福祉計画における策定プロセスからみる住民自治意識の芽生え—大阪市地域福祉計画区アクションプランからの考察—
- 小西 摩耶 商店街活性化のためのアート系町おこしイベント成功に向けた—考察—鶴見橋商店街と寺家町商店街から学ぶ—
- 関 裕 配食サービス事業からみるコミュニティビジネスの実態考察
- 多田 愛 有料老人ホームにおける入居者と地域との関わり—入居者本人へのインタビューを通して—
- 岸 由紀子 高齢者の住居の変遷と展開についての考察—富山型デイサービスに学ぶ—
- 早瀬 里香 地域社会における高齢者ケアについての考察—地域ケアシステムを中心に—
- 平井 和恵 真の顧客満足はどのようなコミュニケーションから生まれるか？
- 吉田 友美 社会変容に伴うボランティア活動の組織化とボランティアの社会化についての—考察—組織におけるボランティア活動・自発性パラドックスについて—
- 八尾 祥子 地域における知的障害をもつ児童の療育とその児童を抱える母親への支援に関する—考察—
- 安藤 芳朗 地域でのウォーキングによる健康づくり—「はつらつCity」の取り組みについて—
- 呉 恩 貞 公立児童館における多機能化の現状と課題—神戸市にある公立児童館9館への聞き取り調査から—
- 小藪 真彦 地域と学校の協働について—これからの地域と学校ができること—
- 泉谷 剛 情報バリアフリーを支援する民間非営利団体の課題と展望—日本ライトハウス・ボランティアグループ「ボイスネット」の取り組みから学ぶ—

●大村 英昭 教授

- 小野 雄平 日本の贈答文化
- 岡倉 尚子 「つどい」という手法における遺児の心のケア

●浅田 壽男 教授

- 山口 亮 流行語の本質
- 田井 雄大 スウェアリングとタブー語
- 中西 駿 配慮表現の考察

●牧里 每治 教授

- 浅田 陽子 今後の女性高齢者に必要となってくることの考察
- 勝見 一生 都市部のコミュニティ再生過程における企業の社会貢献活動の役割
- 丸山さおり 男性定年退職者の地域参加—生きがいをもってセカンドライフを過ごすために—

◎古川 彰 教授

- 細川 学 天王寺区真田山地区における新しい公共空間の構築
- 小田麻奈美 宇宙人のための地球の歩き方
- 松浦 喜子 見て見られる「服」
—国民全てがファッション評論化時代—
- 近見 圭一 過疎と向き合う—福岡県黒木町の事例を通して考える—
- 西村菜緒子 地域住民の「居場所」としての遊び場
—にしのみや遊び場つくり会の事例から—
- 弦牧 孝子 生産者と消費者の距離を問い直す
—雪印の崩壊と再生を通して—
- 堤 麻理子 駅がつくる時間割
—京橋駅周辺開発と住民の暮らしから—
- 高橋 香奈 観光地復興の要因を探る
—有馬温泉を再生する取り組みを通して—
- 上垣 陽子 「笑い」空間のゆくえ
—「M-1 グランプリ」参加者として「人が笑いに求めるもの」を考える—
- 高見 綾 団塊の世代と熟年離婚
—時代に作られた「男らしさ」とは—
- 北野 瑛希 各私鉄が描いた夢の地域
—地域活動を通してみる「夙川」—
- 中村 悠季 テレビ欄から見るオリンピックの伝え方の変化
- 塩谷 聡子 イメージ戦略化社会におけるまちづくり
—観光地宇治の取り組みを通して—
- 平山 礼華 自己表現は内へ外へ—外見重視時代のメガネブームを通して—
- 畑中麻由美 新しい共同性の形成
—「乙訓竹あそびの会」の形成と存続を通して—
- 澤田 葉子 豊かさの探求
—農漁村の暮らしをみつめて—
- 藤原三恵子 高度情報化時代における自殺
—群発自殺と自殺報道の考察から—
- 宮本 瑞穂 戦後の粉食奨励策とパン食普及の二面性—学校給食を中心に—

- 小菅 美奈 スポーツイベントにおけるマスコットの意義—はばタン、おつかれさま—
- 塚本 実希 菓子と子供
—子供が菓子を食べるわけ—
- 前田かおり 食育の現状
—法と地域コミュニティを通して—
- 森田 就 近郊都市の植木屋の誕生と発展
- 中西 麻弥 都市変遷とともに移り変わる河川の象徴性—北九州市小倉の紫川から—
- 辻 裕子 神戸北野から見る観光地における真正性の構築

◎阿部 潔 教授

- 大西 祐子 日常における非日常の実現
—カラオケ空間の考察から—
- 吉田 佳代 有名性のもつチカラ
—セレブを追う心理—
- 森本 修平 多元的な自分らしさのゆくえ
—求められる「らしさ」—
- 栗田 宏介 プロサッカーが人々に与えている影響
—スポーツから世界を見る—
- 森 悠希子 カリスマ性に魅了される人々の心理
- 中川久美子 若者たちの意識格差社会
—「今しか生きられない」要因と背景—
- 松下 愛 イメージを消費する現代社会
—実態を離れていく欲望—
- 別所 拓 21世紀の流行
—焼酎ブームから見る流行の性質—
- 佐溝 慎介 日本らしさを探す日本—愛国心と日本人—
- 古川三紗子 「純愛物語」にハマる人々の心理と現代社会
- 吉田 佳世 日本を揺るがす大学生の就労意識の変化—自己実現のための仕事—
- 関山 真悠 「モテ」に惹かれる女性達
- 広田 愛 オーガニックフードが支持された訳
—流行と遊び心の関係性—
- 中村 憲太 プロ野球私設応援団の社会学
—その魅力の所在—
- 菅納 京子 演技する自分—mixi 日記を通して見る「生きづらさ」—
- 小林 桂子 コトバと理解
—手話というコミュニケーション—

- 中條 和道 現代日本人の社会的性格
—「オタク化」から見るアイデンティティー—
- 岸本 健佑 マスメディアの作るイメージ先行社会
—報道と私たちの関係—
- 吉川 和志 マンガ日本若者話
—リアルさ不足の社会—
- 浅田 尚樹 自己と他者を結ぶ「モノ」への視点
—対人コミュニケーションの限界とは—
- 米田 有美 現代コミュニケーションのズレやすさ
—自己開示への影響—
- 新留 洋祐 恋愛の温度差
—恋愛って変化してませんか?—
- 川副 元樹 野球から見る「若者とオヤジ」
- 安達 まや 現代女性はどこへ向かっているのか?—つくられたキレイを追いかける女性たち—
- 永田 留実 生きづらさと葛藤する若者
—他人指向型社会の限界と「自律」の必要性—
- 磯野友香里 現代社会における消費とアイデンティティの関係性
—リアルな自分を着る人たち—
- 木村 友貴 コミュニケーション力必須社会
- 羽白 浩樹 情報社会の新しい創造性
- 山本 和樹 地域密着型コミュニティの有効性と限界
- 渡辺 愛 「外へ出て行く若者たち」と「内にとどまる若者たち」—彼らがあらわす日本社会と若者の関わり方とは—
- 陳 萌 オタク文化の一角、萌えについての考察—萌えは（二次元アニメに限定）果たして日本でしか萌えないのか!?—
- 李 星 実 感情コントロール社会に生きる子どもたち—不登校問題を考える—
- 伊部真由子 TDLにおけるコミュニケーションの特殊性—そこから見える現代人の他者との関わり方—
- 杉山 亮輔 アメリカ合衆国の広告とアフリカンアメリカン
- 芝田悠未子 差異を求めるココロ

- 北本 淳 ゲームが人を殺す?
—なぜ人は脅威を求めるのか—
- 奥橋 敦子 「日本らしさ」を演じる日本
—「西洋に見せる」から「ノスタルジー」へ—
- 岩野 陽平 組織を動かすリーダーシップ
—コミュニケーションという観点から—
- 津島 優美 英語漬け社会を生きる日本人
How To 本当の異文化コミュニケーション

●難波功士教授

- 難波 宏太 デジタル放送による視聴スタイルとビジネスモデルの変化
- 田中 れな 空気とは本当にできるヤツなのか
—キャラクターが担い、また言葉が担う、「窒息」する世の中への救い—
- 吉森 冴 日米の流行比較
—文化の違いが社会に与える影響—
- 岡崎 真悟 テレビによる情報操作とテレビとのつきあい方
—より好きなテレビになるために—
- 湯崎 陽 ブランド考察
- 猪谷 千恵 「かわいい」と戯れる少女たち
- 大内 絵美 現代のドキュメンタリーの価値
- 佐藤亜希子 マリメッコはなぜ今ブームになっているのか
- 元吉 絢子 モテ語事情。
—「モテる」VS「愛される」—
- 渡辺 績 日本のカフェ文化のこれから
- 山口 朋 小物嗜好論
- 崔 智理 Jポップ音楽事情
—ボーカルグループから見る音楽状況—
- 川江智佳子 「国民的行事」高校野球
- 高田 千恵 韓流ブーム
- 阪上 望 MAKE YOUR REAL STYLE—なぜ私は服に悩むのか—
- 中吉 優子 「ドラえもん」のキャラクター」を読み解く
- 上本 恵理 おしゃれの低年齢化
—おしゃれになる子供たち—
- 金 恩淑 映像媒体PPLマーケティングがホテルブランド価値に及ぼす影響

- 桑原由加里 パブロ・ピカソ—素顔とその人生—
 小畑 大悟 新聞論
 松岡 洋 サブカルチャー再考
 長田 拓也 タバコと人の関係史
 —タバコがきらいな現代という今—
 米田 恵 クール・ジャパンの実情と未来

●福地直子 助教授
 (代行 守崎 誠一 講師)

- 渡邊 亮介 大阪人のステレオタイプについての研究
 吉越 浩二 現代日本マンガの独自性と影響力
 —マルチメディアコンテンツとしてのこれから—
 平井 里奈 ポピュラー音楽の嗜好と人々の関わり方—音楽の好みと音楽を選ぶ動機・消費行動・求めるもの・カラオケの位置付けの関係性—
 服部 ゆり 日本における多文化教育問題
 —日本語指導を必要とする外国人児童に対する支援のあり方—
 木下衣里子 健康ブームを支える好奇心
 竹本 智美 絵本体験のパーソナリティ形成への影響
 高本 恭子 自給自足キャンプにみる若者の自分探し
 大神祐美子 色彩嗜好形成におけるジェンダーの影響
 堀川 智世 「いじめ」抑制要因に関する研究
 —第三者に着目して—
 織田 華絵 現代の大学生の異性友人関係及び20年前との比較
 末守 美月 現代社会の中の家族
 —家族問題・親子問題について考える—
 片谷 仁美 CMC空間における自己表現のこれから
 福谷 祐貴 組織の内部における陰のリーダーの役割
 古曾 健一 武士道—現代の武士道像を探る—
 小西 敦 日本における自殺予防対策
 広瀬健一郎 日本人とナショナリズム

●大和三重 助教授

- 小路 慧之 介護保険は必要か—介護を提供するために今必要なこと—
 宮村 徹 高齢者自殺は予防可能であるか
 國分 由香 都市と地方でみる高齢者の生活実態の比較
 豊島 理 生活保護の役割
 —国民年金との比較から—
 岸田 有紀 自ら立ち上がるアメリカ高齢者
 —AARPを通して—
 小松 朗子 今後のデイサービスの課題と可能性
 —小規模デイサービスと大規模デイサービスの比較から—
 岡崎 昭憲 ストレngths視点から見た団塊の世代
 五十栖知沙 ドイツの介護保険との比較から見えてくる日本の介護保険の課題
 島田恵里子 高齢者の暮らしと住宅
 勝見有紀子 高齢者の社会参加の現状と支援
 —新しい参加型地域社会システムの構築に向けて—
 松中 純也 災害時における社会的弱者支援
 —高齢者を中心に考える—
 村上 友美 認知症高齢者のケアについて
 —グループホームにおけるケアの効果—
 坂 信幸 ケアハウスの開設と経営
 梶川 拓馬 高齢者とスポーツ
 趙 秀 岐 認知症高齢者施設の現状と課題
 —グループホームに関する文献を中心に—
 小松 愛 「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式シート」がめざすもの—従来のアセスメントシートと認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式シートの検証—

●野波 寛 助教授

- 新倉加奈子 妬み深い人は本当に衡平分配を選ぶのか
 大井 崇司 内集団の均質情報が社会的アイデンティティを強める可能性

中嶋 朋子 メール文に使用される感情記号によって印象形成に及ぼす効果
—(^_^)-(笑)および(T_T)-(泣)について—

池宮 礼子
金田 於夢
西村 俊一
宮村 聡子 } 制度への信頼、依存と一般的信頼
大学生の「企業への信頼」が及ぼす就業イメージと就職活動の行動意図の関連性について
—大学生は、企業を信頼するのか—

●野瀬 正治 助教授

細見 尚香 企業広報活動の機能と役割について
西村 拓哉 格差社会是正策
上田裕次郎 談合について—独占禁止法改正による脱談合の視点から—
結縁 崇之 Google とは—成長の要因を探る—
若杉 絵美 フリーターという道
—私達の未来、日本の未来—
三原 智子 人は携帯電話に依存しているのか？
—大学生の実態調査から—
沖野 有紗 常識—私の中の意識—
鈴木 俊之 日本社会の新しい力
—若者とベンチャー・ビジネス—
土壁 健一 ボランチという概念
—現代サッカーにおける役割とは—
岡田 有史 企業におけるクリエイティブの価値について
丘藤 洋平 日本の宗教、日本人の宗教
金城 貴保 教育産業における個別指導塾の躍進
内藤賢太郎 外食産業の経営戦略
—ワタミの視点から—
柳野 智 人口減少時代の育児支援政策—スウェーデンと日本との比較研究—
横山 智晃 ファイナンス理論（アノマリーの原因について）
土肥絵梨子 進化するクチコミ社会
—マーケティングの視点から—
増田 大輔 わが国の少子化問題
—国際的視点から—
河内 健佑 プロサッカー・マネジメント—国際比較の観点から—

入江 基樹 営業形態の問題点から見える日本の営業マンの現状と提案型営業から見る今後の営業スタイルの展望
堀 直之 ドイツ型コーポレートガバナンス
—企業不祥事をなくすために—

●池 埜 聡 助教授

木村 瑞貴 リハビリメイク®再考に見る化粧療法の展望
—ソーシャルワークの視点から—
荒巻 裕子 痴漢被害の実態
—女性専用車両以外の施策とは—
藤森 萌 高等学校において不登校経験者が自立する過程において必要な支援とは何か—教職員側の視点を通して—
西田 麻美 学生のボランティア活動を通しての心理的変化
—児童ボランティアを経験して—
中村麻里子 盲導犬不足の原因とその対策手段
—盲導犬協会の意見と育成問題から—
村井真理子 「平和教育」に潜む落とし穴
—教師から児童へのメッセージ—
西中 智子 児童養護施設で暮らす子どもたちと食
三原 衣世 特別支援教育の実際
谷内 碧 サマル島ソルソゴン村における子育て支援について
—SNP (Supervised Neighborhood Play group) による支援が子どもにもたらす影響—
長田 大嗣 解離性同一性障害を抱える人々の「生活者」としての側面の把握とその支援についての考察
—文献レビューと解離性同一性障害を抱える人々の手記分析—
堺 芳美 母子の変容と母子教室プログラムの効果を探る—障害児母子訓練事業に参加して—
渭川 雄基 「自死遺族支援」の現状と課題
—先行文献の包括的レビューと自死を経験した家族のシングルケーススタディを通して—
本 勉 少年事件実名報道に対する問題点
—あり方と課題—

- 小松 萌子 犯罪被害者支援の基礎を築く教育プログラムの開発—被害者についての理解、支援に対する価値観・倫理観を養う教育の追求—
- 津村真由美 終末期を生きる方への援助を支える死生観—ケアマネジャー6名へのインタビューを通して—
- 岸本 美香 平和博物館の現状と課題—大阪国際平和センター・立命館大学国際平和ミュージアムの調査から—
- 清水 俊介 在外被爆者から見た日本政府—国会議事録を辿って—
- 王 穎 戦争体験した高齢者への支援—中国残留日本人孤児の義母Aさんのライフサイクルから—

●打 樋 啓 史 助教授

- 上田 大介 平成Jポップの歌詞を読み解く—平成の若者の確立していない自己、その解決策—
- 渡部 菜摘 和風ブームから見えてくるもの—日本文化の一側面をめぐって—
- 川辺 絢三 社会階層から見る早期教育ブーム熱と親の特性
- 桐畑 直人 おもちゃとの良いつき合い方—その功罪をめぐって—
- 中田 明香 レトロ・ブーム—人々は「懐かしさ」に何を求めているのか—
- 平田 秀幸 なぜ中年女性は韓流に「ハマった」のか
- 小原 祥子 ことばを創り出す女性たち—抑圧から解放まで—
- 松浦恵里子 占いと日本人の精神性—占いブームを読み解く—
- 畑中 正輝 童話の魔女に見るジェンダー論—現代に通じる女性の姿—
- 田福 健太 笑いのエナジー—その両義性を見る—
- 中藤 佳邦 1960年代フォークソング・リヴァイバルブームをめぐって—プロテストソングにおける民族的自由—
- 森山 和彦 アメリカ村物語—40年の歴史から見えてくるもの—

- 和田 典子 インターネットやゲームは「負の遺産」なのか—「仮想現実」(バーチャル)に居場所を見つける子どもたち—

●山 上 浩 嗣 助教授

- 山内 修平 柔道の勝利の方程式
- 伊藤菜奈子 ブランディングの秘密—一行けスターボックス、負けるなタリーズ—
- 山路 恵理 「物語」との対決
- 村本 巴 アダルトチルドレン—幸福への再生—
- 櫻井 美佐 最高の顧客満足度がここにあり—夢の国・東京ディズニーリゾート
- 西村佳奈子 祭の求心力—だんじり祭の視点から—
- 秋田 直子 動物からの贈り物—アニマルセラピーの本質とは—
- 永田 舞 源氏物語に見る女性の恋愛観
- 古樫 真以 KIMONO
- 川北 朝美 嶽本野ばら『孤高の美学』
- 中島 千佳 タダより安いフリーペーパー
- 来田 佳子 現代女性の見方について
- 玉島 祥子 アイドル研究—女性アイドル細分化の謎を追う—
- 渡辺七都子 ハリウッド映画に見る「日本」—ステレオタイプと偏見
- 高橋ひらら 祇園芸舞妓の世界—花街の魅力—
- 藤原 賢一 流行—背後にあるメディアの力—
- 木澤 英之 中田英寿から見るヒーローについて
- 谷口奈緒子 元町のパール—スターボックス・コーヒー 神戸元町駅前店—
- 西 耕平 スポーツによる都市再生—神戸市とヴィッセル神戸—
- 伊計 歩見 日本人とオニ
- 山本 優 写真家中平卓馬とは何だったのか
- 木谷麻里菜 インターネットは「賢い消費者」を生むのか—CGMのもたらすもの—

●中 野 康 人 助教授

- 堀口 晋 戦後ジャーナリズムと占領政策

◎前 橋 信 和 助教授

- 近藤 加奈 虐待を行った親とその子どもの家族再統合支援に関する一考察
—児童養護施設職員へのインタビュー調査を通して—
- 北原奈緒子 幼児期における早期教育のあり方
- 脇坂 有紀 絵本のすすめ
- 安中 翔子 企業の次世代育成支援—ワーク・ライフ・バランスの視点から—
- 小林 舞子 児童虐待に対する意識
—岸和田事件を通して—
- 松本 裕梨 食で子どもは変わるのか
—食、食育が与える子どもの発育、発達への影響—
- 奥江麻衣子 ネグレクトと関係機関の支援のあり方
—早期発見のための連携—
- 法宗 直紀 少子化対策に必要な支援とは
—経済的不安を解消するための新たな支援の検討—
- 古角 千奈 日本における仕事と家庭の両立と働き方について
- 小路 優子 知的障害児にとって最も適した保育とは
- 堂ヶ平悦子 児童養護施設退所児童の自立支援について—アフターケア事業部の事業を中心に—
- 中村 元彦 不登校児童の第三の居場所のあり方について
—ほっとスペース事業を通して—
- 中村 玲美 アニマルセラピーは被虐待児の援助に効果的かどうか
- 毛利 亜矢 学校給食がもつ健康に対する可能性
—学校給食で食育—
- 田畑 祐樹 児童養護施設での施設内虐待を防ぐには—学生ボランティアにできること—
- 伊藤 史人 これまでの小学校における不登校児童への援助方法とスクールソーシャルワーカー配置小学校における援助方法の比較
- 中村 伊織 ニートについてのイメージと実態

- 小倉 沙織 児童虐待
—世代間連鎖の観点による捉え直し—
- 蜂谷 友美 母子家庭にとって暮らしやすい社会とは—家族として自立するための援助—

◎森 久美子 助教授

- 清水 香里 リーダーシップ行動とパートタイマー・アルバイトの人々の職務満足感の関連性
- 田中 逸美 賞賛獲得欲求・拒否回避欲求と被服行動の関連
- 重松 隆宏 説得行動における非言語コミュニケーションとしての視線量と発話速度の効果
- 山下 敦嗣 ギャンブル依存症の実態
—介入に向けての提言—
- 小林 幸代 職場におけるソーシャルサポートと学生アルバイトのコミットメント、モチベーションの関係
- 手塚 優子 現代青年の交友スタイル
—セルフモニタリング傾向・向社会的行動傾向との関連—
- 田中 優希 視線量が印象形成に与える影響について
- 千葉 剛 流行が生み出す不安
—流行という話題の共有不可状態に生じる不安感—
- 生田誠太郎 笑いの効果について—ユーモラスな発想を持つことの重要性—
- 志波 雅之 試合結果の原因帰属
—サッカー・フットサルという団体競技において—

◎藤 井 美 和 助教授

- 坂上 翔子 親の死に対する子どもの悲嘆
—援助方法を探る—
- 大川真智子 がん告知と死観におけるデス・エデュケーションの影響
—本学における死生学受講者と非受講者の違い—
- 藤田 愛子 DV（ドメスティック・バイオレンス）における加害者形成

- 田中あゆみ がん患者家族の悔いのない看取り
—悲嘆をのりこえるために—
- 相川 真希 高齢者の終末期における自己決定の
あり方について
- 野尻 知里 家族養護を受けるに至った子どもの
対象喪失と悲嘆
—新規登録里親研修への提言—
- 宇田 有希 不安の中で私たちが音楽に求めるもの
- 中井 亜弥 子どもの病気・入院がきょうだいに
及ぼす影響と社会的支援
—きょうだいの視点から考える支援
の在り方—
- 島 祐子 子どもたちと「いのち」を考える
—日本におけるデスエデュケーショ
ンの実践と問題点—
- 井谷 梨沙 配偶者喪失に伴う男性高齢者の悲嘆
について
—祖父の想いから考える—
- 小林 響子 突然の死によって大切な人を亡くし
た人への関わり方を考える
- 北山 佳苗 がん告知の是非—告知を受けた者と
受けなかった者の分析から—
- 植田 倫代 認知症高齢者の家族介護者に対する
ソーシャルサポートの必要性について
- 広部麻由子 障がい児をもつ家族の心理過程
—そこから見える福祉支援の課題点
について—
- 平野由美子 大切な人との死別経験による人間的
成長
—スピリチュアリティとの関連性—
- 長瀬 史恵 出生前診断における選択的中絶をな
くすために
—学生のアンケートから—
- 和久 妙子 絵本とスピリチュアリティ
- 武田 文 助教授**
- 内藤 章 人身売買被害者としてのタイ人セッ
クスワーカーに対するソーシャル
ワーカー被害者保護、加害者処罰、
被害防止の必要性—
- 溝口 陽子 障害児のきょうだいの心の葛藤の支
援と母親のストレス・父親育児参加
の関係—障害児通園施設のきょうだ
い支援を通して—
- 貝阿彌秀子 紛争と貧困の影響、教育支援の重要性
—これから、日本にできること—
- 藤本 和恵 在日コリアンのアイデンティティ確立
—民族教育的観点から—
- 小西 理代 女子マネージャーのジェンダー観に
ついて
- 工藤 玲奈 ペットブームの裏で急増する殺処分
動物その解決と予防
- 清水 俊孝 やりたいことが分からない若者に対
する就労支援
—ソーシャルネットワークの構築に
よる支援の可能性—
- 宮崎 留衣 ドメスティックバイオレンス
—より早急な発見と保護—
- 稲岡利枝子 多文化共生社会に向けて多文化保育
にできること—共生と支援・2つの
可能性—
- 嶋津圭一郎 外国人労働者と日本社会
—多文化共生社会にむけての提言—
- 浅野 千晶 シルバーハウジングでのLSA業務
におけるソーシャルワークの活用
- 下山 晴香 児童養護施設で活動するボランティ
アの役割と可能性
—ボランティア団体HEPの活動から—
- 平川 実加 在日韓国人のアイデンティティ
—ライフストーリーを通して、日本
社会における共生を考える—
- 細谷 朋加 初等教育支援における援助国と被援
助国のNGOのあり方
—日本とインドの考察から—
- 藤崎美菜子 聴覚障害学生に対する講義保障
—関西学院上ヶ原キャンパスにおけ
る取り組みから—
- 奥田菜保子 同性愛者を子に持つ親への受け入れ
支援—同性愛者のライフストーリー
からみる支援方法の考察—
- 岡田 莉絵 ホームレス自立支援においての社会
的企業の可能性
- 武末 志麻 市場社会におけるソーシャルワーク
—自殺・うつ病予防のために企業が
出来ること、EAPの可能性とは—

◎松岡克尚 助教授

- 児嶋 正徳 少年犯罪と行為障害の関連性について
 稲葉 忠生 障害者との文化的交流に関する考察
 —聴覚障害者と音楽を例に—
 竹本 悠子 ADHD 成人女性の二次障害を防ぐた
 めに—障害文化の観点からその枠組
 みを考える—
 近久 賢治 障害者自立支援法における今後の就
 労支援について
 —A 市精神障害者作業所の視点から—
 小松 由佳 障害者の障害者観—障害を越えて理
 解しあうことは可能か—
 吉田 誠 視覚障害者による三療業の発生と、
 現在の課題について
 村松 明奈 プラダー・ウィソン症候群の母親
 に対する支援について
 松下 晴美 中途身体障害者の障害受容と支援の
 あり方について—MSW の視点から—
 東浦 加奈 健常児との交流を通しての障害児の
 社会性・主体性の発達に関する研究
 —A 市での放課後生活と余暇活動の
 実践を通して—
 久保友圭子 自閉症児とその家族の支援について
 —TEACCH プログラムの視点から—
 小早川晶子 私と身体障害者との仮想恋愛観
 —聖和大学短期大学部保育科学生に
 みる恋愛観に関する研究—
 松本美沙子 同性愛サポートに関する提言
 —欧米におけるサポートを参考に—
 安達 良子 精神障害者の結婚生活の現状とその
 支援についての考察
 佐伯あゆみ 障害者の一般企業就労の促進について
 —現存するサポートと特例子会社の
 訪問を通して—

◎Hans Peter Liederbach 助教授

- 加納 英治 連想表現の日本

◎川島恵美 専任講師

- 永井 梨絵 急性期病院における医療ソーシャル
 ワーカーの退院援助の現状とこれから

- 杉本多加子 } 現代日本の同性愛者差別の現状
 三代木奈々 } —ある男性同性愛者の声—
 杉田 晃一 若者コミュニケーションとその変容
 安田 早織 「理想の上司」に求められるものとは？
 —ある飲食店における店長のアルバ
 イトとの関わりを通して—
 町田 憲彦 地域住民参加型の地域福祉政策施行
 における現状—「住民参加」の在り
 方を見つめ直す—
 折田 早苗 バリアフリーを考える
 —明石市重点整備地区の現状—
 花岡 健太 大学福祉教育と進路選択の関連性に
 ついて—関西学院大学社会学部社会
 福祉学科2007年卒業生に対する調査
 より—
 宮本 賢臣 日本の高齢者福祉施設における食
 事・健康—現在の施設食の改善点—
 田中菜美子 生活保護行政のあり方について
 —北九州市の保護率をもとに—
 山崎 達郎 障害を持つ人におけるアダプテッ
 ド・スポーツの可能性と今後の課題
 見谷佳奈美 精神障害者の社会復帰の現状と課題
 —スティグマ・偏見・差別の観点から—
 井上 和子 アニマルセラピーの現状と課題
 —より良いアニマルセラピーの発展
 のために必要なことは何か—
 金澤 智子 不登校児童生徒対象キャンプの意義
 と課題・学校のあり方
 —学校のキャンプ化は可能か—
 荒樋 祐子 社会福祉士養成課程におけるロール
 プレイの可能性について

◎森 康俊 専任講師

- 昆 奈津美 被害者報道の内容分析
 山田 恵 観光地イメージにおけるメディアの
 影響
 小西 雅代 週刊誌報道の役割
 —文春出版差し止めの事例研究—
 浅沼 寛治 機械判定の導入はサッカーにとって
 有益か
 大江 香織 小児性愛者の事件報道における内容
 分析
 松田 知輝 音楽配信サービスの実態

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 楠本 有紀 | ブログ・SNSのコミュニケーション
—顕名・匿名・責任— | 三宅 悠子 | 「反日デモ」報道に関する新聞の内容分析 |
| 畑中 洋美 | ブランド・マネジメントで顧客を獲得できるのか
—アジェンダが売れる理由— | 畑中 彩 | メディアイベントとしての高校野球 |
| 高野 宗典 | 日本の情報共同体に関する一考察
—展望と課題— | 横田 恵 | 米国同時多発テロからの5年間の米国を中心とした国際情勢の内容分析 |
| 吉谷 知美 | 女性ファッション雑誌が作り出す女性像の受容
—男女大学生への質問紙調査から— | 岩井 麻美 | 広告戦略—イメージ・キャラクターの認知心理学— |
| 河野 裕 | プロ野球、ネット中継の現状と課題 | 坂野 雅行 | TVCMの在り方は変わるべきか
—エッセンシャルダメージケアとマシユリの比較分析から— |
| 高倉 康輔 | 映画論としての野球
—日米比較文化論の試み— | 山本 篤史 | 日米主要紙のヤンキース松井に対する報道の違い—Webサイトの内容分析から— |
| 林 千愛 | 若者に見る格差社会問題の一考察
—格差意識と社会現象から— | 石原 大輔 | 多人数ロールプレイングゲームは高い中毒性を備え、青少年の暴力を助長させるか
—ラグナロクオンラインの場合— |
| 河村 美佳 | デジタル化の中で移り行く視聴行動
—固定型テレビと携帯端末型テレビ— | 壺井えり子 | 裁判員制度導入に伴う報道の在り方〔3年次卒業〕 |
| 玉井さくら | 大学生の対人コミュニケーションにおけるカメラ付携帯電話の利用実態 | | |